

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

喬木村長

|                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 市町村名<br>(市町村コード)  | 喬木村<br>(4153)      |
| 地域名<br>(地域内農業集落名) | 阿島<br>( 中原 )       |
| 協議の結果を取りまとめた年月日   | 令和7年1月21日<br>(第1回) |

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地域は昭和40年代に農業構造改善事業により整備された農地が広がる地域であり、河岸段丘の台地に樹園地、畑が広がっている。高齢化が進み農家が減少しているもの農業法人や新規就農者が担い手となり農園を引き継ぐことができているが、一部遊休農地が見受けられる。

(2) 地域における農業の将来の在り方

露地野菜と柿を主要作物としつつ、継続的な農作物の耕作を行っていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

|                                |        |
|--------------------------------|--------|
| 区域内の農用地等面積                     | 7.5 ha |
| うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積    | 7.5 ha |
| うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積【任意記載事項】 | ha     |

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農業農用地区域内の農地及びその周辺の農用地を農業上の利用が行われる区域とする

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

|                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 農用地の集積、集約化の方針                                                                     |
| 地域の中心となる経営体(担い手)に農地集約、集積を図りつつ、今後、耕作者が離農する際は、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。 |
| (2) 農地中間管理機構の活用方針                                                                     |
| 農地中間管理機構を通じて農地の貸し借りをを行い、農地の集約化を目指していく。                                                |
| (3) 基盤整備事業への取組方針                                                                      |
| なし                                                                                    |
| (4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針                                                                 |
| 地の利を活かし村内各地域から認定農業者等の受け入れを促進する。                                                       |
| (5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針                                                  |
| 農作業の負担軽減し農業を長く続けられるために農業法人を積極的に受け入れ持続可能な農業の取り組みをおこなう。                                 |

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

|                                    |                                      |                                  |                                   |                               |
|------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策 | <input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料 | <input type="checkbox"/> ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等 | <input type="checkbox"/> ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等 | <input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等     | <input type="checkbox"/> ⑧農業用施設  | <input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等   | <input type="checkbox"/> ⑩その他 |

【選択した上記の取組方針】

②農業の飛散により周辺農作物に被害を及ぼさないよう配慮し、日ごろから周囲の農業者とのコミュニケーションを取るようになる。  
⑧小渋川土地改良区かんがい施設整備に協力し、農業がしやすい環境を維持する  
⑩当地域には飯田養護学校、たかぎ保育園が貸借する畑があり、多くの子供たちが出入りするので周辺農家は理解し協力をおこなう。